

### 第1章 とやま呉西圏域における広域連携

#### (1) 都市圏ビジョン策定の趣旨

人口減少・少子高齢化社会が進行する昨今の社会情勢の中、地域の再生、創生を果たすには、一定の規模と都市・生活機能を包括する広域的な地域において、人口や活力ある社会経済を維持することが重要です。

本ビジョンは圏域を構成する6市が持つそれぞれの個性・特性を活かし、圏域の発展に向けた新たな取り組みや、これまで進めてきた連携を更に深めることにより、圏域全体の経済成長や住民サービスの向上につなげる、中長期的な「圏域の将来像」を示す戦略として策定するものです。

#### (2) 連携中枢都市圏の名称及び構成自治体

- ① 連携中枢都市圏の名称：とやま呉西圏域
- ② 構成自治体：高岡市、射水市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市

#### (3) 計画期間

**2026年度(R8年度)から2030年度(R12年度)の5年間**



### 第2章 とやま呉西圏域の現状

#### (1) 圏域の概要

本圏域は、県中央部に位置する呉羽丘陵の西部、県内7大河川に数えられる庄川及び小矢部川流域並びにこれらの河川が注ぎ込む富山湾の沿岸部に広がる約1,500km<sup>2</sup>のエリアです。古くから舟運、海運のネットワークにより地域経済を発展させ、広域的な交流を広げてきた本圏域は、現在も、圏域内での通勤・通学など一体的な経済・生活圏を形成してきました。

日本海側の総合的拠点港である伏木富山港や北陸自動車道、東海北陸自動車道、能越自動車道といった高速道路網、北陸新幹線などの広域交通・物流網を背景に、環日本海に向けた交流拠点としての存在感を有しています。

#### 〔圏域の特色・強み〕

- 産業
  - ・臨海工業地域を中心にアルミ、鉄鋼等の金属製品や繊維、化学工業等が集積。高岡銅器や井波彫刻等の伝統産業も発達。
- 観光・交通
  - ・世界文化遺産「五箇山合掌造り集落」、俱利伽羅源平古戦場、大境洞窟住居跡、国宝「瑞龍寺」、**国宝「勝興寺」**、高岡御車山祭、城端曳山祭、**新湊曳山祭**、高岡・山町筋、井波・城端の門前町、日本海側最大の斜張橋「新湊大橋」、海王丸パーク、ひみの海探検館、砺波チューリップ公園など、多くの歴史・文化的な観光資源。
  - ・北陸新幹線、北陸自動車道、東海北陸自動車道、能越自動車道、伏木富山港等の広域交通・物流基盤整備に伴う東海・飛騨地方、石川県、福井県等の交流拠点。
- 農林水産
  - ・チューリップ球根、干柿、種もみ、ハトムギ、コシヒカリ、**富富富**、マグロ、寒ブリ、シロエビ、ベニズワイガニ、ホタルイカ、庄川あゆなどの全国的な知名度を誇る農林水産品。

#### (2) 圏域の人口

	総人口		将来推計人口			
	2020年 (R2)	2030年 (R12)	2040年 (R22)	2050年 (R32)	2060年 (R42)	
高岡市	166,393	151,999	135,667	119,270	102,815	
射水市	90,742	84,803	77,777	70,502	62,823	
氷見市	43,950	35,522	28,356	21,973	16,540	
砺波市	48,154	45,125	41,700	37,730	33,259	
小矢部市	28,983	24,662	20,865	17,263	14,070	
南砺市	47,937	39,572	32,339	25,965	20,483	
<b>とやま呉西圏域</b>	<b>426,159</b>	<b>381,682</b>	<b>336,704</b>	<b>292,703</b>	<b>249,990</b>	

・総人口…令和2(2020)年度国勢調査  
 ・将来推計人口(2030～2050年度)…国立社会保険・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」より  
 ・将来推計人口(2060年度)…内閣官庁・内閣府より提供された「将来人口推計のためのワークシート(令和6年6月版)」より、社入研推計準拠推計値

#### 【直面する課題】

- ・若い世代の都市部への流出や出生率の低下等による人口の減少
- ・高齢化の進行、経済成長の低迷、それらに伴う中心市街地の空洞化
- ・生産年齢人口の減少が進むことにより、農林水産業、製造業を中心とする地域産業の衰退
- ・地域医療、保健・福祉サービスを担う人材不足に伴う生活関連機能の低下

### 第3章 とやま呉西圏域の将来像

#### (1) 圏域が目指す将来像

とやま呉西圏域の将来像

## 環日本海の中核拠点

#### (2) 圏域づくりの基本方針

本圏域が目指す将来像「環日本海の中核拠点」の実現に向けて、圏域の「人」、「強み」、「つながり」の活用・充実を大きな柱とした9つの基本方針に基づき、本圏域の連携中枢都市圏としての役割を果たすとともに、圏域各市の機能分担を図りながら、産業、観光、地域交通、医療・福祉等、各分野における連携施策に取り組みます。

#### 圏域が目指す将来像

環日本海の中核拠点

#### 圏域の役割

圏域全体の経済成長のけん引

高次の都市機能の集積・強化

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

#### 圏域づくりの基本方針

#### — 圏域の成長を後押しする人づくり —

- 1 圏域経済の成長を担う多様な人材の育成
- 2 **子どもの健やかな成長を支え合う環境の整備**
- 3 **圏域内・圏域外との交流の拡大・定着の促進**

#### — 強みを活かした「稼ぐ力」の創出 —

- 1 呉西型産業クラスターの形成
- 2 「稼ぐ」呉西イノベーションの実現
- 3 **地域資源を活かした戦略的な広域観光の推進**

#### — つながりの深化による好循環の実現 —

- 1 公共交通ネットワークの活性化
- 2 **圏域内における地域医療・保健・福祉機能の持続性の確保**
- 3 **災害に強く、生涯安心して暮らせる圏域づくり**

人口減少・少子高齢社会にあっても、地域の資源、資産を最大限に活かし、持続可能で安心して暮らし続けていける圏域を創るため、以下の取組みを重点的に進めていきます。

#### 基本方針に基づく重点的な取組み

##### ◆子どもまんなかの推進

子どもをまんなかに据え、子どもや子育ての当事者を、圏域内で連携して支える取組みを推進

##### ◆行政リソースの効率的な活用

圏域内の行政リソースの相互活用を推進

##### ◆激甚化する災害への対応力の強化

近年激甚化する災害への対応力の強化に取り組み、安心して暮らせる圏域づくりを推進

##### ◆新たな交流・観光施策の展開

地域の観光資源を活かした戦略的な広域観光施策を推進

##### ◆多様な人材が活躍できる環境づくり

若者や女性、高齢者や外国人材など多様な人材が活躍できる圏域づくりを推進